

|日本環境管理学会 会報

< 1頁>第29回研究発表会「研究論文・実践報告募集!」 < 2~3頁>研究発表会「講演論文執筆要領」 < 4~5頁>論文提出にあたってのご注意 < 6頁>日本環境管理学会研究発表会「発表申込書」

第29回

研究論文・実践報告募集!

《ビルメンテナンス現場からの実務報告も大歓迎》

【会場】タワーホール船堀(東京都江戸川区) 【日時】5月20日(金)~21日(土)

日本環境管理学会の第 29 回研究発表会を、平成 28 年 5 月 20 日(金)・21 日(土)の 2 日間、タワーホール船堀(東京 都江戸川区)で開催します。下記のとおり論文・実践報告・ポスターなど募集しますので、皆様の日ごろの研究成果を ぜひご発表ください。本大会は、研究職の方に限らず、ビルメンテナンス現場で従事されている方の実践報告も広く受 け付けています。優れた発表には賞を差し上げていますので、清掃や設備管理技術者の皆様も、業務の成果をぜひご発 表ください。お申し込みは、募集要項・執筆要領などをご覧のうえ、6面の発表申込書にてお願いいたします。

なお、今回の特別セッションは、法政大学教授の石神隆先生に「都市環境論とその未来」をテーマにご講演いただく 予定です。また、(公社)全国ビルメンテナンス協会の研究助成である研究課題の報告もございます。

今回も環境管理に関する幅広い分野からの発表と、研究発表会へのご参加をよろしくお願い申し上げます。

第29回研究発表会開催概要と論文等の募集要項

【開催日】平成28年5月20日(金)~21日(土)

【会場】タワーホール船堀(東京都江戸川区船堀4-1-1) 3階307会議室

【開催趣旨】環境管理に関心のある、あらゆる分野の人々に 研究論文並びに技術報告等の発表の場を提供します。

【募集内容】

①講演発表論文、②「ビルメンテナンスの現場から」実践 報告、③ポスターセッション (右参照)

【発表の採否】

- *最終的な発表の採否は、本学会学術委員会で決定します ので、予めご了承ください。
- *研究発表の採否と発表区分については、4月下旬にお知 らせする予定です。
- 【応募資格】原則として本学会会員としますが、会員以外か らの応募も受け付けます。
- 【発表申込・原稿の提出】発表を希望される方は、6面の 「研究発表会発表申込書」に必要事項を記入し本学会事務 局まで郵送またはFAXにてお知らせください。原稿は4 面の注意事項を読み、できるだけPDFでご提出ください。

【提出期限】平成28年3月14日(月)必着

【発表形式】1発表につき20分程度(討論時間を含む)

【申込先·送付先】〒116-0013東京都荒川区西日暮里5-26-7 クレセントビル4階 日本環境管理学会事務局

Tel, 03-3802-7050 Fax, 03-3802-7051 E-mail/info@riemam.org

① 講演発表論文

- ◆環境管理に係わる研究・調査報告等で、次の分野につい て募集します。
 - 1)都市環境管理 2) 建築環境管理
 - 3) ビルディング・メンテナンス (建築物維持管理)
 - 4) プロパティ・マネジメント (不動産経営管理)
 - 5) ビルディング・マネジメント (建築物経営)
 - 6)環境管理論
- ◆原則として未発表の調査研究とします。
- ◆製品の宣伝等、学会の研究発表としてふさわしくないもの は受け付けません。
- ◆原稿は、本紙掲載の執筆要領(2~3面)に従って執筆し、 提出してください。

②「ビルメンテナンスの現場から」実践報告

- ◆ビルメンテナンス現場での経験や現状の報告等を受け付け ます。
- ◆原則として未発表の報告とします。
- ◆原稿は、本紙掲載の執筆要領(2~3面)に準じて2頁程 度で執筆し、提出してください。

③ ポスターセッション

- ◆AO版用紙縦位置使い、2枚以内に作成してください。
- ◆ポスターは当日持参し、指定の場所に掲示のうえ、発表し ていただきます。
- ◆ポスター発表の内容をまとめた原稿を、本紙掲載の執筆要 領(2~3面)に従って執筆し、提出してください。

日本環境管理学会大会・研究発表会・学術講演梗概集執筆要領

Guideline for Preparing a Paper for the Annual Meeting of RIEMAM

印刷の場合

【1行あける】

環境 一郎 * Ichirou Kankyo

【1行あける】

keywords: RIEMAM, Environmental Management, submission of a paper

日本環境管理学会、環境の管理、論文投稿

【1行あける】

1. 記述の方針

日本環境管理学会大会の研究発表会において学術講演を行う ものは、この執筆要領に従って講演論文を作成し、提出しなけ ればならない。

講演論文は、それ自体で調査・研究報告としての討論と保存 に耐えられるものとし、調査・研究内容を明確に記述する。

各方面の分野の専門家や関係者が読むことを前提として、研 究の目的、考え方、方法や手法、結論を記述する。

製品の宣伝・自己の PR 等、学会の調査・研究報告として相 応しくない論文は受理しない。

学術論文に関連した、既往の研究や調査報告を整理して掲載 する。

2. 原稿

原稿は、パソコンまたはワードプロセッサを用いて作成し、 印刷出力したものでなければならない。

手書きの原稿は受理しない。

原稿の頁数は、2頁または4頁とする。

所定の原稿用紙はないが、A4版白紙の片面に、左右に20 mm、上下に25mmの余白をとり、5項並びに6項に示す字体や 文字の大きさ等の指示に従って作成する。

図表を含め、上記の枠内に読みやすいように割りつける。

3. 学術講演梗概集

提出期限までに提出された講演論文は、本会学術委員会にお ける査読を経た後、「日本環境管理学会大会 2016 学術講演梗概 集 一第29回研究発表会一」として、印刷・配布する。

学術講演梗概集は原則として白黒で印刷するが、著者が特に 必要とする場合には、申し出により、カラー印刷とすることを 認める場合がある。ただし、カラー印刷に要する費用について は、全て著者の負担とする。

4. 講演論文の構成

講演論文の構成は下記による。

- ① 題目と著者名
- ② キーワード (英語及び日本語)
- ③ 所属機関・学位(英語及び日本語・1 頁目下欄)
- ④ 本文 (本文は図・表・写真を含め、以下を標準とする)
 - (1) まえがき
 - (2) 本
 - (3) 結 論
 - (4)謝 辞
- ⑤注、引用文献、参考文献

5. 論文の題目・著者名・キーワード

論文の題目は、論文の内容を的確に表現したものでなければ ならない。

共通する主題のもとで連続する数編を投稿する場合は、個々 の論文には、その内容を具体的にあらわす題目を付し、共通の 総主題は、副題 (サブタイトル) として、その1、その2など とつける。

論文の題目は、12 ポイントの大きさのゴチック体を使用し て、中央に記載する。

次の行に、論文の英文題目を、10 ポイントの大きさで Century を使用して、中央に記載する。

空白行を1行設けた次の行に、著者名を10ポイントの大き さのゴチック体を使用して、中央に記載する。

次の行に、著者の英文名称を、10 ポイントの大きさで Century を使用して、中央に記載する。

空白行を1行設けた次の行に、イタリック体による "keyword:" の記載の後に3~5語程度の英文によるキーワー ドを、10 ポイントの大きさで Century を使用して、中央に記載 する。

次の行の中央に、10ポイントの大きさで、日本語によるキー ワードをゴチック体を使用して記載する。

空白行を1行設けた次の行から、論文等の本文を記載する。

6. 講演論文の本文

講演論文の本文は、A4版白紙の片面に、左右に 20mm、 上下に 25mm の余白をとり、この枠内に 9 ポイントの大きさ の明朝体の文字を用いて、28 字×55 行、2 段組、3,080 字 (28×55×2) で作成する。

なお、章節の番号を除く本文中の英数字は、半角の Century 体、9ポイントを用いる。

講演論文の文章は、ひらがな混じり口語体、現代かなづかい とし、原則として当用漢字を用いる。

数字、アルファベット、ギリシャ文字、上付き、下付き、大 文字、小文字などのまぎらわしいものは明確にすること。

図、表及び写真は、そのまま印刷に使用するので、完全なも のを、文章に対応する箇所に張り付ける。

図、表及び写真には、それぞれ、図1、図2、……、表1、 表2、……、写真1、写真2……などと通し番号を付ける。

図、表及び写真には、内容を的確に表現する標題を必ず付け る。また、図及び写真の標題は図及び写真の下部に、表の標題 は表の上部に付ける

数式には、(1)、(2)、(3)などの通し番号を付ける。

注は、講演論文本文には含められないような詳細なコメント

*○○工業大学・工学部 教授・工博

prof., Faculty of Engineering, OOInstitute of Technology, Dr. Eng

や意見を述べるもので、論文文章の後にまとめて掲載する。 引用文献は、引用順に番号を付し、注の後に番号順にまとめ て掲載する。

参考文献は、引用文献の後に番号順にまとめて掲載する。文献番号は、文章中または図、表の引用箇所に 1 , 2)のように上付き文字を使用して明記する。

文献の記載方法は、次による。

a. 論文の場合

著者名:標題、誌名、Vol.、No.、発表年月、掲載頁の順 とする。

b. 単行本の場合

著(編)者名:書名、発行所名、発行年月、掲載頁の順と する。

- c. 著者名は、姓名で記す。ただし、著者が複数で多い場合、筆頭者以外は、ほか〇名としてもよい。
- d. 欧文の場合には、筆頭者は姓を先に記す。また、連名者は「et al.」で省略することもできる。
- e. 一般に公表されていない文献、たとえば未発表の論文、 簡易印刷(コピーしたものなど)の委員会報告や社内報告 および私信などは、文献として扱わない。必要な場合には 注として記載する。

図、表等の引用・転載にあたっては、著作権所有者の許可を 取らなければならない。

文献の記載例

[引用文献]

- 1. 申恵京, 水庭千鶴子, 近藤三雄:酸化チタンの光触媒反応 を利用した観葉植物によるホルムアルデヒドの除去可能性. 環境の管理. 2007, No.63, p.17-22
- Sheppard, S. D. et al.: On Becoming a 21st Century Engineer, Journal of Engineering Education, Vol.97, No.3, July 2008, pp.232-233
- 3. 空気調和・衛生工学会編:京都議定書目標達成に向けて 建築・都市エネルギーシステム新技術、空気調和・衛生工学 会、2007 年 10 月、p.62

[参考文献]

- 1. Lomborg, B. (Edited): Global Crises, Global Solutions, Cambridge Univ. Press, Cambridge, UK, Aug. 2004
- 2. 槌田 敦: 弱者のための「エントロピー経済学」入門、ほ たる出版、2007年9月

7. 原稿の取り扱い

論文原稿の枠外右下に、頁数を鉛筆書きする。

論文原稿の送付にあたっては、汚れたり、折れたり、しわにならないように注意すること。

日本環境管理学会 論文部門別 分類一覧

1 都市環境管理 1. 都市環境・地域環境 2. 都市環境管理 3. 都市設備 4. 都市エネルギー 5. リモートセンシング 6. コンパクトシティ 7. 都市防災 8. 都市景観 9. 人口 99. その他

2	建築環境管理
	1. 熱環境
	2. 空気環境
	3. 光環境・音環境
	4. 空間環境
細	5. 安全・建築防災
芥田	6. 信頼性・保全性・耐久性
	7. 執務環境・情報環境
分	8. 水環境
	9. 生物環境
類	10. 廃棄物・清掃
炽	11. 経済環境
	12. 資源・エネルギー
	13. 総合環境・総合評価
	14. 環境管理システム
	99. その他

3	ビルディング・メンテナンス
	1. 環境衛生管理
	2. 清掃管理
	3. 衛生管理
	3.1 空気環境管理
	3.2 給水管理
	3.3 排水管理
	3.4 害虫防除
細	3.5 廃棄物処理
邢田	4. 設備運転保守管理
	4.1 電気設備
Λ	4.2 空気調和設備
分	4.3 給排水設備
	4.4 消防用設備
Mirat.	4.5 昇降機設備
類	5. 建物・設備点検整備
	5.1 建物点検整備
	5.2 設備点検整備
	6. 保安警備
	6.1 警備
	6.2 防火防災
	6.3 駐車場管理
	99. その他

4	プロパティ・マネジメント (不動産経営管理)
細分類	1. PM 2. 不動産 3. AM 4. FM 5. L CM 99. その他

5	ビルディング・マネジメント
	1. 管理・管理手法
	2. 管理計画・運用計画
	3. 空間利用計画
細	4. 経営
	5. ビル管理システム
分	6. 設備管理システム
<i>,</i>	7. ビル環境管理
alterê	8. 建築経済
類	9. L C C
	10. ビル調査・計画
	11. ビル開発・建設
	99. その他

6	環境管理論
細分類	1. 環境管理 2. 環境監査 3. 環境アセスメント 4. 環境経営 5. 環境マネジメント 6. 危機管理 99. その他

論文提出にあたってのご注意 ~原稿作成と提出に関する留意事項~

日本環境管理学会では、研究発表会でご発表いただく論文および現場報告について、1冊の梗概集にまとめ、会員および当日参加される方々に配布します。研究発表会は、できるだけ多くの方のご参加を促すため、参加費を安く設定しております。それに伴い、梗概集もできるだけ価格の安い印刷方法(フィルム等の加工をせず提出された論文等の実物を直接版下にして印刷する方法)を採用しています。そのため、原稿提出にあたって、以下のことをご注意くださいますようお願い申し上げます。

●PDFで提出される場合

※作成時の注意

- (1)2~3面の執筆要領(印刷の場合)に準じて作成してください。
- (2)ファイル形式は Adobe Reader で表示および印刷可能な PDFファイルで提出してください。
- (3)ファイルの容量は概ね2MB以下となるようにし、圧縮やセキュリティ設定はしないでください。
- (4)文字化けを防ぐため、PDF作成時にフォントの埋め込み処理を必ず行ってください。

※提出時の注意

- (1) 原稿のPDFファイルは下記のEメールアドレスまで提出してください。 Eメール info@riemam.org
- (2)提出は1件の発表申込に対し、ファイル1件のみを受け付けます。
- (3)発表申込書は本学会ホームページからダウンロードし、PDFファイルにして提出してください。
- (4)一度提出された発表申込書、原稿 PDFは締め切り前であっても修正や差し替えは認めません。

●印刷物で提出される場合

※作成時の注意

提出原稿を直接版下にして印刷しますので、以下のことに留意してください。

次のものについては、文字が見えづらい、図表の濃淡がわかりにくいなど、十分な印刷仕上がりにならない ことがございます。

◎写真 ◎部分的に塗りつぶされた図 ◎白黒でも濃淡の違いがはっきりしないもの

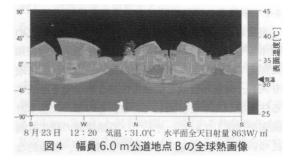
パソコンに接続されたプリンターによるプリントアウトと異なり、印刷物は基本的に網点によって色の濃淡を表現します。そのため、これらについては、印刷版下として用いる際、網状の点に分解する作業が別途必要になります。しかし、そのような処理を行っても、必ずしも明瞭なものが得られるとは限りません。

従って、写真以外については、可能な限りこのような 形ではない表現を工夫してください。

1. カラーでのプリントは避けてください

カラーは、線の太さや色によっては、印刷版下にした 場合に消滅してしまうものがあります。また、色の違い が直接的に白黒の差として現れるものでもありません。

従って、カラーを用いた原稿は避けてください。



カラー原稿をモノクロ印刷したときのイメージ (『環境の管理』68 号 25 頁参照)

2. 文字部分への網かけは避けてください

表などの重要な部分に網かけを行うケースがありま すが、印刷版下にした場合、文字と網かけとの間の濃 淡の違いが少なくなり、文字がかえって見づらくなる 場合があります。

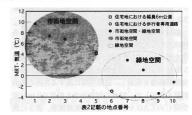
従って、表中の文字や数値を強調したい場合には、 例えば文字の大きさやフォントを変えるなど、網かけ ではない工夫をしてください。

※円グラフ等で塗りつぶした部分に記入された文字 や数値についても同様ですので、ご留意ください。 ※ただし、枠を黒色で塗りつぶし白抜き文字にする ことは可能です。

表 2 熱放射環境の比較(他の市街地空間、緑地空間との比較)

		空間の特徴	天空率	舗装	樹木	MRT	気温	MRT- 気温
市街地空間	1	商業ビル地区に位置する交差点	22	1	0	45.1	35.3	9.8
2005年8月4日	2	開放的な駅前広場	40	1	0	41.3	33.9	7.4
11:14~13:00 (引用文献 8)	3	東西道路 (4 車線) の北側歩道	21	1	1	41.2	34.5	6.7
	4	東西道路 (4 車線) の南側歩道	22	1	1	34.1	33.6	0.5
住宅地空間	5	住宅地における幅員 6 m公道 (地点 B)	52	1	1	35.1	31.0	4.1
(本研究)	6	住宅地における歩行者専用道路(地点 A)	49	1	2	28.9	31.8	-2.9
緑地空間 2005年7月27日 12:04~13:04 (引用文献8)	7	木の植えられた公開空地	13	1	2	35.8	33.1	2.7
	8	緑豊かな公園	17	1	2	34.9	33.9	1.0
	9	開放的な芝地	81	0	0	30.4	33.7	-3.3
	10	大きた樹冠の下の休憩スペース	13	1	2	32.0	30.8	-1.2

*舗装 1:舗装 0:非舗装、樹木 0:なし 1:有り 2:

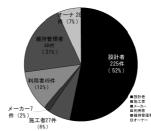


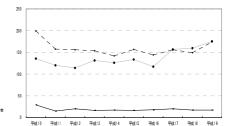
網かけによって文字が読みづらく、網の状 態もまだら模様になってしまった例 (『環境の管理』68号23頁参照)

3. グラフ等の作成に関する留意事項

やむを得ず網かけを行わなければならな い場合は、塗りつぶしではなく、できるだ け点や斜線等で領域の違いを明確にする工 夫をお願いします。

また、表や折れ線グラフの場合は、細い 線や破線を用いると、線自体が十分に印刷 されない場合があります。また、折れ線の ポイントもできるだけわかりやすい形を選 択するようにしてください。





表やグラフを作成で、色の塗りつぶしや、細い線や色の薄い線を 使用すると、文字や線が見えづらくなる場合があります。

※提出時の注意

- (1)原稿は下記宛てにお送りください。その際、発表申込書を添付してください。 〒 116-0013 東京都荒川区西日暮里 5-26-7 クレセントビル 4 階 日本環境管理学会事務局
- (2)発表申込書は6面をコピーしてご使用ください。
- (3)複数件数発表される方は、それぞれの原稿に発表申込書を添付し、一緒に送付してもかまいません。
- (4)一度提出された発表申込書、原稿PDFは締め切り前であっても修正や差し替えは認めません。

NEWSLETTER RIEMAM 2016年 1 月号 第171号

(Research Institute of Environmental Management, Administration and Maintenance of JAPAN)

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里5-26-7 クレセントビル4階

TEL: 03-3802-7050 FAX: 03-3802-7051 ホームページ: http://www.riemam.org Eメール: info@riemam.org

発行=日本環境管理学会

日本環境管理学会 研究発表会 発表申込書

[この申込書もしくはそのコピーを発表論文に添付して提出してください]

送付先 〒116-0013 東京都荒川区西日暮里5-26-7 クレセントビル 4 階 TEL: 03-3802-7050 FAX: 03-3802-7051

論文題目	[和文]															
発表内容に 関 す る キーワード	[5語程度]															
論文概要						! !		! ! !				! !	! ! !	 		
(150字 程度)												 				
								: 			: 	; ; ; ; ;	 			
								 			 	! ! ! !		 		
				ļ 								 		 		
				<u> </u>		 		 			! ! ! ! !	! ! ! ! !	 	 		
				ļ 												
	氏 名(ふりが	· +>)		1	コウ	(^ 72	(4-1)				託	E E				
講演発表者	以 右(ありか	·4)			ローマ字(ヘボン式) 所属											
連絡先	勤務先 自宅 (〒 -) (いずかに○印を付ける)															
连 桁 儿	TEL FAX	(内線 Eメール					ール								
	氏	名		ローマ字(ヘボン式)								所		属		
連名者																
発表希望	(1) 護凉及主 (9) 「ばルメンテナンフの理想かと」起生 (9) ポフカ															
元 次 市 宝 区 分 (希望する区	(1) 講演発表 (2) 「ビルメンテナンスの現場から」報告 (3) ポスター															
分・分野に○ 印を付ける)	⇒ [分野] 1) 都市環境管理 2) 建築環境管理 3) ビルディング・メンテナンス 4) プロパティ・マネジメント 5) ビルディング・マネジメント 6) 環境管理論															
事 務 局 使 用 欄	受付番号	受付月日					月	月日確認								